

瑞宝双光章受賞

当施設看護師の木村美津子さんが
受章されました。

瑞宝双光章

豊かな感性に

目線合わせて

木村美津子さん(60)

下松市東陽

「鼓ヶ浦こぼと園」看護師

周南市久米の医療型
障害児入所施設「鼓ヶ浦こぼと園」で重度心
身障害児・者の健康管
理や残存機能の維持向
うに看護師として携わ
つて42年。受章に「後輩
の励みになるように受
けたい」と喜ぶ。



丘高を出て同センター
に看護師見習いで就
職。小学2年生の時の
急性虫垂炎の手術で優
しかった看護師にあこ
がれたという。夜は徳
山看護専門学校に通っ
て看護師資格を取得し
た。

42年間は意志を伝え
ようとする入所者に目
線を合わせて意をく
み、ひたすらコミュニケ
ーションを図ってきた
日々で「豊かな感性を
持つ入所者から学んだ
ことは多い」という。

3月末で定年退職し
たが、引き続き非常勤
で現場の第一線に立ち
続けている。

↑ 日刊 新周南 より抜粋

「鼓ヶ浦こぼと園」
看護師
木村美津子さん



後輩の励みになれば

瑞宝双光章

1977年に看護見習と
して社会福祉法人鼓ヶ浦整
肢学園の肢体不自由児施設
(現医療型障害児入所施設
「鼓ヶ浦こぼと園」)に就
業。働きながら看護学校に
通い、79年に准看護師、82
年に看護師となった。

利用者の施設生活の質向
上を図り、保護者とのコミ
ュニケーションを密にし
て、住み慣れた地域で生活
できるよう支援。業務改善
委員会のメンバーとして、

職員が働きやすい職場環境
づくりに尽力した。

利用者とは目線の高さを
合わせて対話することを心
掛けており、「利用者の皆
さんは、意思が伝わると、
にこっと笑ってくれる。そ
れに最高の喜びを感じる」と
話す。

これまでの42年間を振り
返り「私が頂くことで後輩
の励みになれば。多くの入
所に長く勤めてもらいどん
どん後に続いてほしい」と喜
びを語った。

(下松市、60歳)

↑ 山口新聞 より抜粋

障害児らに寄り添う

瑞宝双光章

医療型障害児入所施設
「鼓ヶ浦こぼと園」
看護師
木村美津子さん 60

重症心身障害児・者らが
入所する同園に42年間勤
め、看護師などとして利用
者やその家族に寄り添って
きた。「とても驚いている
が、受章が後輩たちの頑張
る励みになればうれしい」と
喜ぶ。

小学生の頃に虫垂炎を患
い、優しく接してくれた看
護師の姿が印象に残り、同
じ道を志した。高校卒業後



の1977年4月から、周
南市(当時は徳山市)にあ
る同施設で看護師見習いと
して勤務。夜に看護学校に
通い、看護師の資格を取っ
た。

パートを含む看護師約70
人のリーダー的な存在で、
職場では同僚によく声をか
ける。入所者の話は目線を
同じ高さにして耳を傾け
る。「思いを聞き取り、笑
ってもらえると幸せ」と語
る。仕事を応援し、201
3年に他界した夫に「受章
を喜んでくれていると思
う」と感謝している。

(下松市)

↑ 読売新聞 より抜粋